第5次八潮市行政改革大綱・実施計画を策定

地方公共団体は、厳しい財政状況の中でも安全かつ良質な公共サービスを確実、効率的に実施できるよう、自主的に行政改革に取り組むことが求められています。このような中、経営の観点に立脚した行政運営を図り、行政サービスの向上、より健全な財政運営などを推進するため、平成28年度から32年度までの5年間を計画期間とする「第5次八潮市行政改革大綱・実施計画」を策定しましたので、その概要をお知らせします。

問 企画経営課☎内885

行政改革とは

国や県、市などの行政機関の組織や機能を改革することであり、社会環境の変化に対応して、組織の簡素合理化、事務の効率化、職員数や給与の適正化などを行う取り組みのことをいいます。

基本方針

第5次八潮市行政改革大綱・実施計画では、経営の観点に立脚した行政運営を推進するため、資源である「ヒト・モノ・カネ・情報」を最大限に活用し、行政サービスの向上、より健全な財政運営などを推進します。

第5次八潮市行政改革大綱

行政改革を推進していくうえで、主要推進項目として5つの大綱を定め、64の取り組み項目を設定しました。

①市民との協働の推進

多様な市民ニーズに的確に応えるため、市民、市民団体、NPO、議会などと適切な役割分担のもとで連携・協働し、まちづくりに取り組みます。

まちづくりに対する参画意欲を高め、多くの市民が参画しやすい環境を目指します。

②公民連携の推進

民間事業者のノウハウや新しい発想を取り入れ、行政サービスの向上を図ります。

行政の領域の見直しを行い、効果的・効率的な事業を推進するため、民間事業者への委託やさらなる指定管理者制度の導入などを検討し、公民連携の推進を図ります。

③事務事業の見直し

事務事業の必要性、有効性、効率性を的確に見極め、簡素化・集約化に努めます。

市民の期待に応える行政サービスを提供し、市民満足度の高い行政を目指します。

④組織・人材マネジメントの推進

限られた人材を効率的に活用し、最少の人員で最大の効果を挙げることができる組織体制の確立を目指します。

職員の意識改革や人材育成に取り組み、職員が能力を発揮できる働きがいのある職場環境を目指します。

⑤自主・自律的な財政運営の推進

厳しい財政状況下において、将来にわたり継続して安定した行政サービスを提供できる財政基盤の確立や効率的で適切な資産管理を行うため、中長期的な視点をもち、財政の健全化、自主財源の確保を図ります。

推進方法

PDCAサイクルに基づき、実施計画の進行管理や評価を行います。

また、毎年度の評価結果は、市ホームページや広報やしおで公表します。

※PDCAサイクルとは、Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）の4段階を繰り返すことにより、業務を継続的に改善することをいいます。

※第5次八潮市行政改革大綱・実施計画の取り組み項目は、市ホームページや市役所840情報資料コーナーでご覧ください。

八潮市人口ビジョンおよび八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定

人口の将来展望を示す「八潮市人口ビジョン」および平成27年度から31年度までの5年間を計画期間とする「八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要についてお知らせします。

問 企画経営課☎内476

まち・ひと・しごと創生とは

2008年に始まった日本の人口減少は、今後加速度的に進むとされています。

まち・ひと・しごと創生とは、人口減少の克服と地方創生をあわせて行うことにより活力ある日本社会を維持することを目指すものです。

人口ビジョンの目的

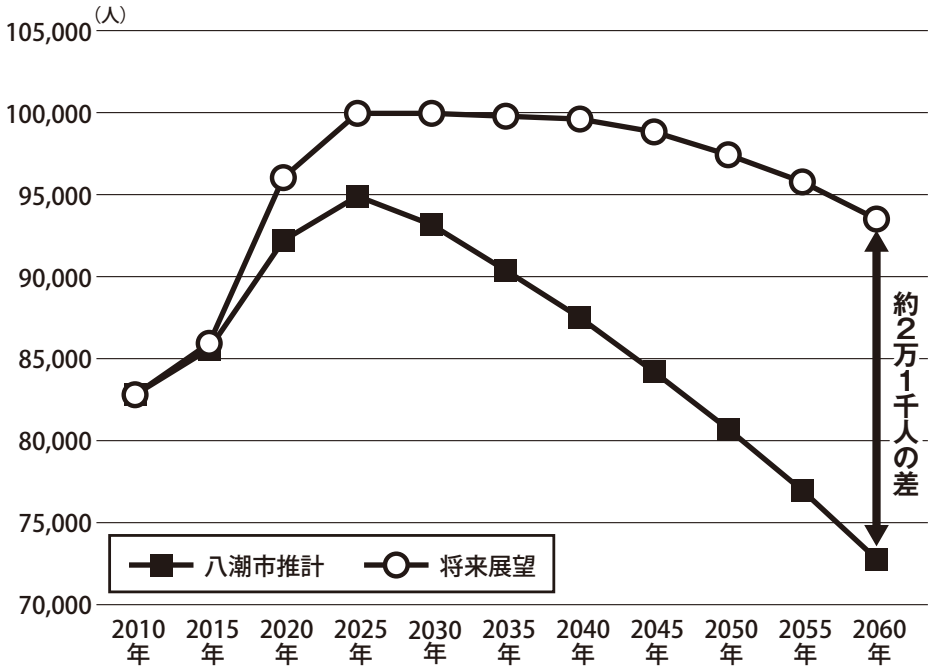
人口の現状を分析し、認識を共有し、今後目指すべき方向と人口の将来展望を示すものです。

人口の将来展望

まち・ひと・しごと創生が実現し、人口減少が抑制されると仮定すると、本市の人口は2025年に10万人に達した後、減少に転じ、2060年には約9万4千人（**将来展望**）になると推計されました。

なお、現在と同様の状況で推移すると仮定した場合の人口は、2060年に約7万3千人（**八潮市推計**）になると推計されます。

詳しい人口の将来展望などは左上の図のとおりです。



総合戦略の目的

まち・ひと・しごと創生の実現に向けた目標や施策の基本的方向を示すとともに、第5次八潮市総合計画に定めた「平成37（2025）年度の将来目標人口10万人」を達成し、活力を維持するための取り組みを示すものです。

総合戦略4つの基本目標

4つの基本目標を定め、37の事業に取り組みます。

【基本目標①】

■産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり

都心への近接性や交通アクセスの良さを生かし、市内産品のブランド化などにより、産業を振興するとともに、就労機会を拡大し、就労人口の増加を図ります。

【基本目標②】

■人や情報の交流による「住みやすさナンバー1のまち八潮」の発信

本市の資源を生かし、魅力を伝えるとともに、訪れたくなるまち・住みやすいまちとしての認知度の向上とイメージアップを図ります。

また、暮らしに関する情報発信の充実や、市民が集い交流できる機会の充実により、住みやすさの向上を図ります。

【基本目標③】

■保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり

保育や教育などに関する環境の充実を図るとともに、親子で出かけられる機会や場所を充実させ、親子が安心して暮らせる環境をつくります。

【基本目標④】

■自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成

地域の安全・安心を支える知識の普及や体制強化のための支援など、互いに支えあい学びあいながら安全・安心なコミュニティを形成します。

推進方法

重要業績評価指標（KPI）に基づき進捗状況と成果について評価を行うとともに、八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会の検証を踏まえ、改善を図ります。

※重要業績評価指標（KPI）とは、Key Performance Indicatorの略称で、施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のことをいいます。

※「八潮市人口ビジョン」および「八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は市ホームページや市役所840情報資料コーナーでご覧ください。